

平成26年度 日本老年看護学会生涯学習支援研修 応用編【モデル事業】 報告

開催日時 平成26年11月8日(土) 13時30分～16時

会場 発明会館ホール (東京都港区虎ノ門)

参加者数 81名 (会員59名、非会員22名) *申込者 会員63名、非会員22名 計85名

テーマ・講師 日本の認知症ケアの方向性と老年看護学の貢献

1. 日本における認知症ケアに関する政策動向と老年看護学会に期待すること
勝又浜子氏 (国立保健医療科学院 統括研究官)
2. 日本看護協会における認知症ケア充実への取り組みと老年看護学会に期待すること
坂本すが氏 (日本看護協会 会長)
3. 認知症ケアにおける老年看護学会の取り組みと今後の展望
北川公子氏 (日本老年看護学会 理事)



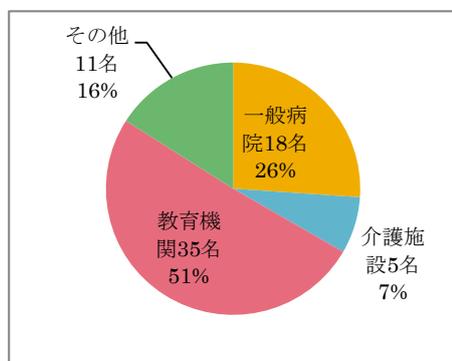
アンケート結果・感想 (回収数; 71、回収率 87.7%)

①回答者の概要

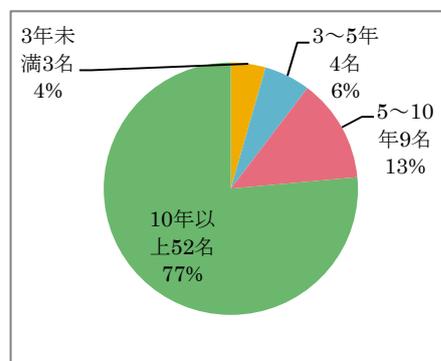
1) 入会状況 会員51名、非会員20名

2) 勤務先

その他
療養病床
認知症専門病院
訪問看護 St
市町村
大学院生



3) 経験年数



3) 研修会を知ったきっかけ (複数回答)

老年看護学会 HP (31)、学会からのメール (25)、上司の紹介 (9)、ニュースレター (5)、学会関係者からの紹介 (5)、ポスター (3)

③内容について

1) 受講動機

テーマに関心があった (64)、講師に関心があった (25)、知人の勧め (4)、会場がアクセスしやすかった (4)、参加費が安かった (4)、上司の勧め (3)

2) テーマへの関心

非常にある 40名 (56%) まあ興味がある 29名 (41%)

3) 研修は期待通りであったか

期待通り 27 (38%) まあ期待通り 35 (49%) どちらでもない 5 (7%) あまり期待通りではない 2 (3%)

4) 老年看護における生涯学習支援研修の応用編について

非常に必要 47 (66%) まあ必要 21 (30%) どちらでもない 1 (1%)

5) 今後応用編で取り上げてほしいテーマ、希望

- ・良質なケア提供の追及
- ・看取りケアへの取り組み
- ・老年看護の基礎教育
- ・高齢者施設における看護者の役割と医療施設における看護者の役割
- ・急性期病棟における認知症患者の看護

6) 感想など

- ・地域でどのように発信すれば地域ケアのレベルが向上するかと考えている
- ・今回の研修はもやもやしていたものがすっきり整理できた。
- ・看護者向けの研修も大事だと思うが、市民が認知症への理解をすることを促進していくことも大切だと思う。職場内での取り組みを考えたい。